



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1924, 1(2): 187-192

ISSUE DATE:

1924-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/182635>

RIGHT:

雜報

◎近江田上山鑛物採集の狀況　我が田上山は黃玉石水晶長石雲母電氣石綠柱石錫石狼鐵鑛モナザイト等拾數種の鑛物をベグマタイト岩脈中の晶洞より産する。之が爲めに鑛物採集の目的を以て登山せらるゝ方が年々に増加するに反し、希望を裏切られて歸られる方の多いのは甚殘念に思ふ。成程砂防工事が行はれてから産出を減じたることは否むことが出来ないが、未だ地表に採集を待ちつゝある鑛物の多々あることは又事實である、その採集地と方法を知悉せらるゝ方の少いことも其原因ではなからうかと思ふ。今日までは黃玉石は下田上を主とし其他の鑛物も同様であるが特に關津の笹間ヶ嶽の如きは英人の大規模の採集によつて澤山の産出を見たゝめ世界にまで其名を知られたものである。しかし今後は下田上と上田上の兩村の界をなす方面

によい物を産出する様に思はれる。即ち下田上より上田上の方面に進んで採集すれば收獲も多いと思はれるし、上田上方面はまだ採集に手をつけて居ない所が多い。採集するには谷川を辿り其流れてゐる長石に依りベグマタイト岩脈の所在を知り其中の晶洞を發見するがよい、風化せる所は雲母又は長石等で、白くなれる所の上部の土砂を除きベグマタイトを發見しその嶺より縦に走れる脈を求め最下部に「止め」と稱する二等邊三角形の様に廣まつた所をさがすとそこに晶洞が存在する、横に走れるもの又は下方に廣まらないものは、ベグマタイト岩脈でない又雲母が板狀をなして在る時は雲母の晶洞で、縦に走る時は大なる晶洞がある、晶洞は鐵棒にて打ち表面を破る時は粘土で覆はれて鑛物は中心に向て存在す靜かに柔かに棒でさぐるがよい粘土のために存在を認めがたく、ために美晶を破損しやすい、地中にありては非常にもろいから氣をつける必要がある、又水晶、長石黃玉石の晶洞であるや否やはその長石、雲母の色、水

晶の結晶等で大體に知れるものである、又その土壤によつて良否がしれる、鐵分の多い所は産出も少く良質のものが少い、晶洞の大なるものは五六尺に達することあり。

採集時期、雨後二三日はベグマタイトの發見容易で光線反射又弱く、冬季は上部雪融のため發見容易である、昨年は多雨のため少からず産出せり。(中司稔)

◎別府の噴湯 大分縣速見郡伊藤初治氏が血の池地獄附近の溫泉掘鑿中大正十二年十一月六日午後三時頃深さ十八間餘を掘下げた際音響と共に地上七八間の高さに熱湯噴出し引續き猛烈な勢で噴出を續けた。(十二年十二月九日)

◎富山縣の山崩 富山縣西礪波郡五位村宇山栃谷地内約一萬坪の土地は大正十二年十二月二十四日午後三時半頃一大音響と共に陥没し家屋三戸電柱百本共に陥没した、此より先き二十四日午後零時頃五位山一帯に突然大鳴動起り約一時間に互つて物淒く鳴り續けて居た後大震動と共に俄然土地の大陥落が起つたのである、被害場

所は福岡、今濱間線路の上部の上部五位山村栃谷附近で、建築物の被害は二十一戸の部路中完全なものは四戸で他は全部倒壊又は半壊した、福岡今濱間線路は約八十間に互り一間以上陥没崩壊し交通杜絶した、陥落地帯は五位山村宇山谷に於て田地一萬五千坪、空地二千坪及び五位山山頂百坪、山麓百八十坪でこれが爲め山麓の田地は約六百歩埋没し、陥没地を中心としては數十町に互り縦横に三寸乃至一尺の龜裂を生じ各所に斷層を生じた、陥落の深度は八間乃至三十間であつたが二十五日午前十時頃に至り更に一尺餘陥落の深度を増し井戸水が急に涸渴し始めた、同地は今より十七八年前にも四十年前にも崩壊のあつた場所で今回の山崩は地層の砂利層へ連日の雨水が浸入した爲であると云ふ。

(十二年十二月廿五日)

◎南洋の燐礦 南洋の燐礦は現在南洋廳にて經營し之を民間に拂下げて居るが、大正四年獨逸南洋燐礦株式會社から警備艦隊が引取けて六年末までに六千四百萬噸を噸平均參拾圓九拾四錢

で、大倉、多木、島、大日本肥料、日本化學、大阪化學等に拂下げ、次で拂下げ方法をアングウル島船渡としてから大正十二年までに三十九萬二千噸、七百廿壹萬圓の拂下げをなした、而して南洋の燐礦はアングウル島が主たるものであるが同島の埋藏量は一九〇三年の發見當時には二百五十萬噸と稱せられ獨領時代に二十萬噸、日本領となつてから四十二萬八千噸を採掘したから現在の埋藏量百八十七萬噸と見積られる。

(十二年十二月二十五日)

◎海 事 四 則

(1)太西洋航海の時間 米國政府船舶局の世界最大汽船レヴィアザン號(五六〇〇〇噸)は紐育シエルブル間を五日七時間二十分で航破しキューナード會社のモーレタニア號の有する五日七時間三十三分といふ記録を破つた。

(十二年十一月廿九日)

(2)支那と聯絡航海開始 青島阪神間の定期航路は現在郵船、商船、原田汽船の三社で運航して

居るが右三社では今回支那内地旅行者の爲め聯絡輸送の計劃を立て、鐵道省及び中華民國國有鐵道當局と交渉成立したので本年一月一日より乗客及び手荷物の聯絡切符を三社で發賣する。

(十二年十二月十九日)

(3)米國の世界周遊航路 桑港に本社を有する米國ロバート・ダラー汽船會社は最近世界周遊航路を開始するに決し、本年二月二日から二週間に一回就航せしめることになつた。同航路は桑港を起點とし、ホノルル、横濱、神戸、上海、香港、麻尼拉、新嘉坡、彼南、古倫母、スエズ、ボートサイド、アレキサンドリア、ネーブルス、ゼネバ、馬耳塞、ボストン、紐育、バルボア、ハバナ、パナマを経て六十日目に桑港に歸着するものであるが神戸以西北支那巡遊の陸路切符を發行しスエズで埃及の古跡遊覽切符を發行する、同汽船會社では之がため船舶院の汽船ハリソン號以下プレシデント級(重量噸一萬三千噸級)旅客船七隻を購入し準備に着手して居る。各船の平均速度は十五節である。歐洲航路船は

エム・エムの優良船を以てしても十五節を出でず、郵船の如き十二節半であるから自然壓迫を餘義なくされるであらう、第一船ブレンデント・ハリソン號は一月五日午後五時桑港を出帆二十五日神戸入港の事になつて居るが貨客船の定期世界一周船路は之を以て嚆矢とする。

(十二年十一月廿六日同卅日)

(4) 巴奈馬通過船 一九二二年七月より一九二三年五月に至る十一箇月間の巴奈馬運河通過船並に通過貨物は運河開通以來の最高額を示して居るが之れを數字にして示せば左の如くである

一九一五年	一〇七二隻	四九二六〇〇〇噸
一九一六年	七六〇	三〇六三〇〇〇
一九一七年	一八〇六	七〇八三〇〇〇
一九一八年	二〇六八	七五五三〇〇〇
一九一九年	二〇二八	六九四六〇〇〇
一九二〇年	二四七八	九三三七四〇〇
一九二一年	二八九二	一一五九九〇〇〇
一九二二年	二七三六	一〇八八四〇〇〇
一九二三年	三五五〇	一七四六八〇〇〇

(十一月)
(十二年八月廿八日)

◎北極探検計劃 米國海軍卿デンビー氏は一九二四年夏季海軍飛行隊をして北極を探検せしむ

る具體的方案が作成せられたと發表した、此探検に於ては歐洲より日本に向ふ北極横斷航路設定の能否を決定することが其の目的の一つであるが、油田事件でデンビー氏は最近に辭職した故にこの計劃はいかになるであらうか。

(十二年十二月五日)

◎米國銅産額 米國地質調査局の調査によれば大正十二年中の米國粗銅生産高は十四億七千七百萬封度で前年度より五億二千七百萬封度の増加を示した、又米國産及外國産銅より精煉した精製銅額は廿一億千八百萬封度で之も前年度より七億五千九百萬封度の増加である、但再製銅の生産高は一億三千萬封度で前年度より一千六百萬封度の減少を示した。(十三年一月八日)

◎米國移民制限 米國新移民法案は各國移民數を一八九〇年米國內に居住せる各國民人口の百分二に限定せんとするものである。現行法によれば一九一〇年米國內に居住せる各國民人口の百分三の移民を許して居るから新移民法によつて最も大なる影響を被るものは南部歐羅巴諸國

である、右諸國の一八九〇年に於ける米國在住
民人口は一九一〇に比すれば遙かに少數である
からである。(十三年一月五日)

◎瑞西の大降雪 一九二三年年末より一九二四
年頭に掛け瑞西には百餘年以來の珍らしい大雪
降り續き各所に雪崩あり年末五日間に凡そ六十
軒の建物が破壊せられ交通杜絶して死者五名負
傷者廿三者を出した。(十三年一月四日)

◎伊太利の洪水 一九二三年臘伊太利の北部ミ
ランに近いベルガモ郡に豪雨あり、その結果十
二月二日グレノ湖の堰止め決潰し大洪水となり
附近の三郡は全部水中に没し深さ三十尺に達し
多數の村落工場橋梁鐵道發電所等悉く洗ひ去ら
れ死者六百名に達し氾濫した農地は廣大なる面
積に及んだ。(十二年十二月三日)

◎巴里の洪水 一九二四年一月二日豪雨の爲め
セーヌ河は約三間増水し、巴里中は既に浸入し
始めケー・ドルセー及びアンヴァリッド兩停車場
は閉鎖され郊外の形勢は一層甚だしく殊にルー
エでは慘狀を極め電車は全部停止し筏に依つて

交通を維持し食料品はボートで配給せられた。
三日に於けるセーヌ河の水準は平常より二丈一
尺五寸の増水を示しアルボルト・ヴィーユ市(セ
ーヌ縣)では堤防が決潰し三千名の住民は避難
し作業の出來なくなつた工場も多い。

(十三年一月四日)
◎支那棉花減收 一九二三年度支那の棉産は前
年度に比べて一割七歩の減收である、前年度の
産額は八百三十九萬八千擔であつたから本年の
産額は六百九十七萬三百四十擔となる譯である
之を各省別にする

江蘇省、作付前年に比して減少し、作柄も前
年の五割

直隸省、早魃早霜の爲め前年の七割

湖北省、作付は前年と大差なかつたが早魃の

爲め前年の八割弱

浙江省、作付激減した爲めに産額は前年の三

四割

陝西省、前年來阿片の栽培が盛となつた爲め
に作付減少せるのみならず品質も著しく下

落し産額は前年の七割強

河南省、阿片の栽培と天候不良の爲め産額甚

だしく減少

山東省、棉花結實時に降雹、減收

江西省、作付減少で産額半減

(十二年十二月五日)

○稀有の颱風 昨年八月十八日香港地方を襲ひ

たる颱風はその風速一時間百三十哩(毎秒約六十米)に及び最高の記録を示した。

(ノーチュア八月)

○民用地質調査所 民國は數年前地質調査事業

を開始し、米人グレボー氏を聘して銳意その進

展を期しすでに二三の學術的報文も刊行されて

ゐるが昨年四月更に農商部は通牒を發して各省

に地方地質調査所の設立を促した、蓋し合衆國

の例に倣はんものと思惟さる。その各省地

質調査施行準則なるものを支那鑛業時報(滿鐵

地質調査所刊行)第六十號より摘記して見やう

各省地質調査施行準則

第一條 各省ニ地質調査所ヲ置き各省ノ實業廳ニ隸屬セシム

第四條 各省地質調査所ニハ所長一名、技師二名乃至六名ヲ

置ク該人員ハ實業廳ニ於イテ專門人員ヲ撰ビ省長ノ認可ヲ

得テ任命シ之ヲ農商部ニ報告スベシ

第五條 各省地質調査所ハ専ラ左記ニ掲グル當該省ノ地質及

地質ニ關スル事項ヲ掌ル

一、地層及構造 二、礦物、鑛床及鑛產 三、土性 四、

水利地質 五、地形 六、古生物 七、其他地質ニ關ス

ル事項(中略)

第六條 各省地質調査所ハ當該省ノ地質總圖及地質分圖ヲ作

製スベシ但地質總圖ノ縮尺ハ五十萬分一トシ分圖ハ所要調

査事項ニ依リ十萬分ノ一乃至一萬分ノ一トスルコト(中略)

第八條 各省地質調査所ハ標本陳列館及圖書館ヲ附設スベシ

但二者ヲ同時ニ設置スルヲ得ザル場合ハ先ニ陳列館ヲ設置

スルコト(中略)

第十條 毎年一月農商部地質調査所ハ各省ノ地質調査所長ヲ

北京ニ召集シテ協議會ヲ開キ一年間ニ於ケル各省ノ分擔調

査事項ニ就テ協議シ議定ノ諸事項ハ之ヲ農商部ニ呈出スベ

シ(中略)

第十二條 各省地質調査所ハ技術員ヲ農商部地質調査所ニ派

遣シテ專門技術ノ訓練ヲ受ケシメ或ハ會同シテ專門技術ノ

研究ヲナサシムルコトヲ得

第十三條 各省中經費不足ノ爲め地質調査所設置ヲ延期セント

スルトキハ實業廳ニ臨時ニ地質調査員一名乃至二名ヲ置キ

期間ヲ限リテ第六條ノ全省ニ實總圖ヲ作製スルコトヲ得

(以下略)